

事業企画戦略室会議（平成 28 年度第 6 回）

議事録

日時：2017 年 3 月 6 日（月）15:00~17:00

場所：地盤工学会 3F 会議室

本多 眞 室長	○	小林 孝彰 幹事	○	渡邊 康司 室員	
堀 雅明 室員	○	渡邊 保貴 室員		坂 梨利男 室員	
下川 大介 室員	○	坂 東 聡 室員	○	河 井 正 室員	
杉 山 博一 室員		大 林 淳（前室長）		保 高 徹 生（前幹事）	
事務局：松本雅樹		事務局：伊佐治敬	○		

○：出席 ×：欠席 △：未定

議題

議事録担当者の選出 → 小林 室員

1. 前回議事録の確認（小林幹事）

承認された。

2. 理事会報告（1月27日、2月24日（書面会議））

本田室長より、関連するいくつかの項目に関して報告がなされた。

【審議事項】

会員・支部部

- ・熊本地震被災者のための会費減免が了承された旨について報告された。
- ・ダイバーシティ会費減免制度利用者の減免措置終了後の残会率が高いため、次年度も当該制度を延長することが提案された。また会費減免制度利用者に学会誌の電子化移行を推奨することを検討してはどうかとの意見があった。

調査・研究部

- ・名古屋で行われる第 52 回地盤工学研究発表会について、セッション時間割が承認された。

総務部

- ・「地盤工学会 研究活動における不正行為への対応に関する規定（案）」の制定に関する

経緯について説明がなされた。

【報告事項】

とくになし。

3. メディア懇談会

- ・現在は理事の中で発表者を持ち回している状態。3月に勝見先生，5月に渦岡先生に発表いただく予定で，それ以降は未定。
- ・あと5-6回分，発表者を確保する必要がある。
- ・次回会議までに，各室員が発表内容（発表者）の案を持ち寄る。

4. 中長期ビジョンと活動報告シートに関して

前回までの議論

- ・中長期ビジョン検討会（12月2日，大林全室長，本多室長，古屋副会長）
検討内容メモの確認
- ・長中期ビジョンを利活用するためには，各部の年度ごとの活動がどの中長期課題に関連するかを明示するとよいのでは。
- ・現状，次年度の予算申請の時期に合わせて各部が可動方針案を作成するが，フォーマットが統一されていない。はじめから長中期課題との関連の中で活動方針案を作成してもらい，重要度を考慮して予算配分するというのが理想的。
- ・中長期課題である以上，どこかのタイミングでレビューが必要である。関連する各部の活動の数年分のレビューをまとめることで，長中期課題のレビューができれば効率的。
- ・まずは平成29年度の各部の活動方針案から具体的な活動を抽出し，現状の中長期課題にあてはめてみる。（2月17日までの宿題）

各部の事業計画案と中長期ビジョンの関わり方

- ・中長期課題の抽象度が統一されておらず，各部の活動の割り当てがうまくいかない。
- ・取り組みのない中長期課題が浮き彫りとなった。
- ・日常的・事務的な業務をどう扱うか。

5. その他

- 1) 次回事業企画戦略室会議（平成 29 年度第 1 回）の開催日：
平成 29 年 5 月 8 日~16 日で調整
- 2) 次回理事会（3 月 17 日）への提案事項
 - ・ 審議事項： 特になし
 - ・ 報告事項： 特になし
- 3) 今年度の予算削減に対応するため、室員の旅費を計画的に執行する必要あり。Web 会議の利用も考慮。
- 4) 3 月 15 に行われる総務部と事業企画戦略室によるワーキンググループ「中長期の収支に基づいた予算計画（仮）」に本田室長が参加予定。